

## 「神はアブラハム、イサク、ヤコブとの契約を思い起こされた」

出エジプト記 1章～2章（聖書朗読 2:23-25）

～モーセの生涯（1）～

### はじめに

今回は、モーセの生涯を学びましょう。モーセは、旧約聖書最大の人物で、旧約聖書全体がモーセに代表されることもあります。

アブラハムからヤコブまでは、族長時代と言われる部族の歴史でした。彼らは、エジプトに移り住んで400年過ごすことにより、民族は大きくなりました。神様はモーセという一人の指導者によって、彼らをエジプトから救いだし、「神の民」（神の国）を形造られたのです。それは、神の国の規則（律法）を与え、それによって神の民を作り上げようとなさったのです。

中心聖句「神は彼らの嘆きを聞かれ、アブラハム、イサク、ヤコブとの契約を思い起こされた」（2:24）。

### 1 誕生から主の召命までのあらまし。

#### （1）エジプトで苦しめられる民（1章）。

ヤコブ一族は、ヨセフに助けられてエジプトに住むようになり、400年が過ぎました。ヨセフのことを知らない王は、大きな勢力となったイスラエル人を恐れ、彼らに苦役で苦しめました。王は、更に過酷な労働で苦しめ、さらにそれ以上人数が増えないように、男の子が生まれたり殺すように命じました。

#### （2）レビ人夫妻の子として誕生（2:1）。

そのような時代に、祭司の補佐役であるレビ人の夫婦に男の子が生まれました。

#### （3）隠しきれないので、かごに入れ、ナイル川に（2-3）。

しかし、隠しきれなくなって、両親はその子を防水加工したかごに入れ、ナイル川の葦の茂みに置きました。心優しいエジプト人が拾ってくれるだろうと期待して、その子の姉は様子を見ていました。隠したのも、川に置いたのも、信仰の行為でした（ヱゲル 11:23）。

#### （4）パロの娘の養子に（4-10）。

そこにパロの娘が現れ、あわれに思っていると、その子の姉が「乳母を呼ん

で来ましょう」と言い、実の母を呼んで来ました。パロの娘は、賃金を払う約束をして、その子の養育を母に委ねました。「三つ子の魂、百まで」という大切な時期に、その子は実の母に育てられました。

やがて、母はその子をパロの娘のところに連れて行き、王女はその子にモーセという名を付けたのです。王女の子となったモーセは、エジプトのあらゆる学問を教えこまれ、ことばにもわざにも力ある者となりました（使徒 7:22）。

## （5）神の民としての自覚と救出失敗（11-15）

モーセは、40歳になった頃のある日、同胞が苦役に苦しみ、エジプト人が同胞の一人を打ちたたいているのを見ました。モーセは、そのエジプト人を打ち殺して、砂に隠しました。

翌日、今度はヘブル人同士が争っているのを仲裁しようとしたのですが、逆に反発され、エジプト人を殺したことも知られていたため、恐ろしくなり、エジプトからにげました。

## （6）ミデヤンの地での生活（16-25）

モーセは、ミデヤンの地に逃れました。ミデヤンは、アブラハムの後妻ケトラが産んだ子で、ミデヤン人はその子孫でした。そこで、ミデヤンの祭司の娘を助けたことから、その人の世話になり、娘のチッポラと結婚し、男の子ゲルシヨムを与えられました。

## 2 ここから学べること。

### （1）神の民の強さ。

神の民は多産で、急速に増えました。苦しさの中でも強く、ますます増え広がりました（1:7.12）。

### （2）神の守り（2:1-10）。

苦しみの中にも、神の守りがありました。そして、それをモーセの家族の信仰に見ることが出来ます。両親が子を隠したのも、川の中に置いたのも、彼らの信仰でした。それに応えて神様はお守り下さったのです。

モーセは、王家で教育を受けました。これが後に神の民を導く大きな助けとなりました。法律の知識、民との対応、戦術、その他。

### （3）神の民としての自覚と失敗

モーセは 40歳の時に神の民として自覚し、救済に立ち上がりましたが失敗

しました。その時のことを新約聖書・使徒の働きの中で、ステパノはエルサレムでした説教でこう説明しています。

「彼は、自分の手によって神が兄弟たちに救いを与ようとしておられることを、みな理解してくれるものと思っていましたが、彼らは理解しませんでした」。(使徒 7:25)

モーセは、自分の判断と自分の力で神のわざをしようとしたのです。これが失敗の原因です。

**適用** 私たちも、自分の判断と力で神のわざをしようとしても失敗します。神の時を待たねばなりません。そして聖霊の力を頂かねば失敗するのです。

#### (4) 罪のはかない楽しみを受けるよりは

(ヘブル 11:24-27)

モーセがエジプトを去った理由を、新約聖書・ヘブル人への手紙の著者はこう説明しています。

「信仰によって、モーセは成人したとき、パロの子と呼ばれることを拒み、はかない罪の楽しみを受けるよりは、むしろ神の民とともに苦しむことを選び取りました。彼は、キリストのゆえに受けるそしりを、エジプトの宝にまさる大きな富と思いました。彼は報いとして与えられるものから目を離さなかったのです。信仰によって、彼は、王の怒りを恐れなくて、エジプトを立ち去りました。目に見えない方を見るようにして、忍び通したからです」(ヘブル 11:24-27)

**適用** 私たちは、この世の楽しみとキリストに従う生活とどちらを選びますか。この世の楽しみはつかの間です。はかないものです。しかし、キリストに従うことは永遠です。

#### (5) ミデヤンの地での生活 (40 年)

モーセは、ミデヤンの地で 40 年生活することになりました。その生活は、エジプトの王家での生活とは全くかけ離れたものでした。しかし、神様はモーセを真の指導者とするために、ミデヤンでの生活を用意されたのです。

そこでモーセが学んだのは、先ず家族です。妻を愛し、子を育てること。また荒野での生活の仕方。モーセは後にイスラエルの民を 40 年荒野で導きました。

このような生活から彼が身につけていったものは、謙遜と忍耐です。これはエジプトの王子としての生活からは学び得なかったものでしょう。モーセはやがて地上でもっとも謙遜な人と言われました(民 12:3)。

**適用** 指導者として必要なのは、知識や能力だけではありません。謙遜と忍耐が必要なのです。これを身につけるために、神様は私たちを訓練してくださるので

す。

## 結論

神様は、エジプトで苦しむ神の民を救うためにモーセを起こされました。モーセは、奇跡的にエジプト王の家で育てられ、またミデヤンの地でも貴重な訓練を受けました。

神様は、私たちをもいつも守り、私たちに必要なものを必ず備えてくださいます。ですから、神様に従って生活することが一番安全であり、確かなのです。神様第一の生活を守っていきましょう。

私たちを救うために、神様はイエス様をこの世に送ってくださいました。そして、その十字架の死と復活によって私たちを罪から救い出してくださったのです。そして、いまイエス様を信じる者はだれでも救われるのです。

## 救い主として受け入れていない人への勧め。

あなたは、今日までイエス様を知らなかったかもしれません。しかし、イエス様はあたを知っておられます。今日、今、イエス様のもとに帰っていらっしやい。イエス様は、それを望んでおられます。

「見よ。わたしは、戸の外に立ってたたく。だれでも、わたしの声を聞いて戸を開けるなら、わたしは、彼のところに入って、彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をする」（黙示録 3:20）

「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます」（使徒の働き 16:31）

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである」（ヨハネ 3:16）

## 祈り

父なる神様。あなたの御子イエス・キリストを感謝します。

私は、あなたに罪を犯して来ました。地獄に投げ込まれても当然な人間です。

しかし、イエス様は私の罪のために十字架にかかり、私のために死んでくださいました。

あなたは、私のすべての罪を赦してくださると言われました。感謝します。

私は、いま、イエス・キリストを私の救い主、私の神として信じ、受け入れます。

あなたは、私をあなたの子として受け入れてくださることを感謝します。

今日からあなたに従っていきます。どうぞ、弱い私を導いてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。